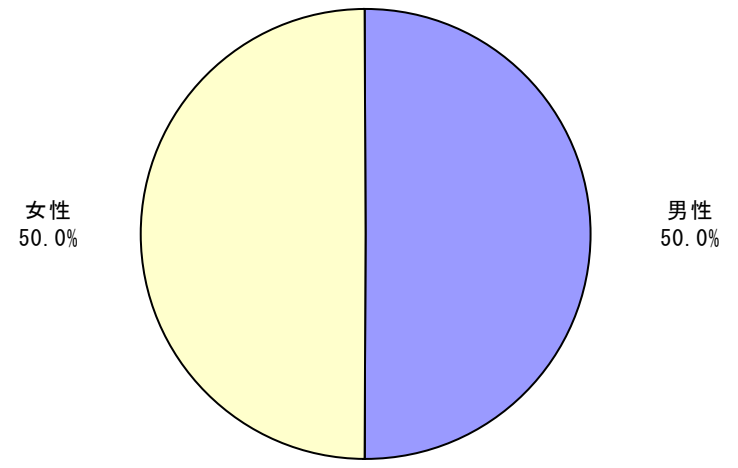
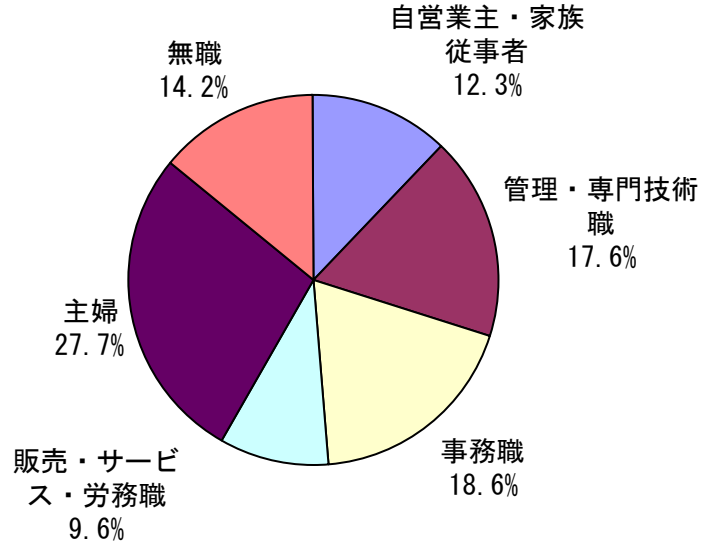
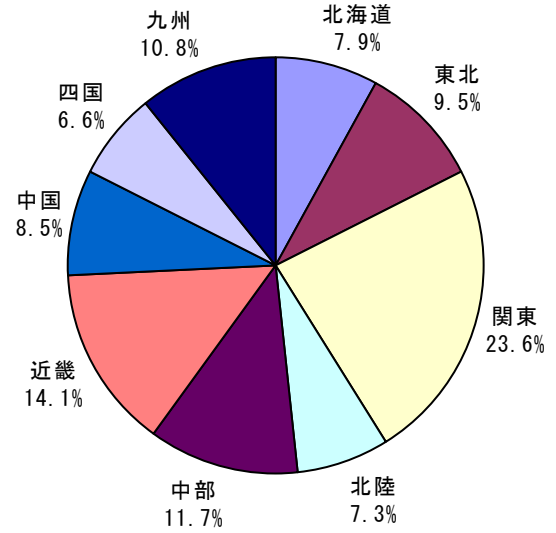
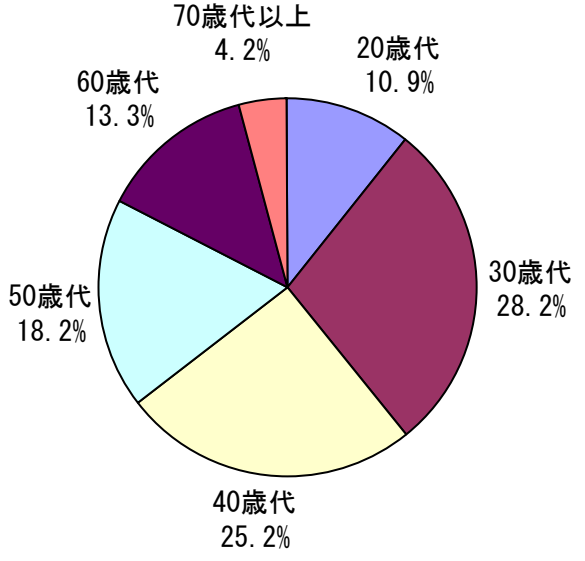
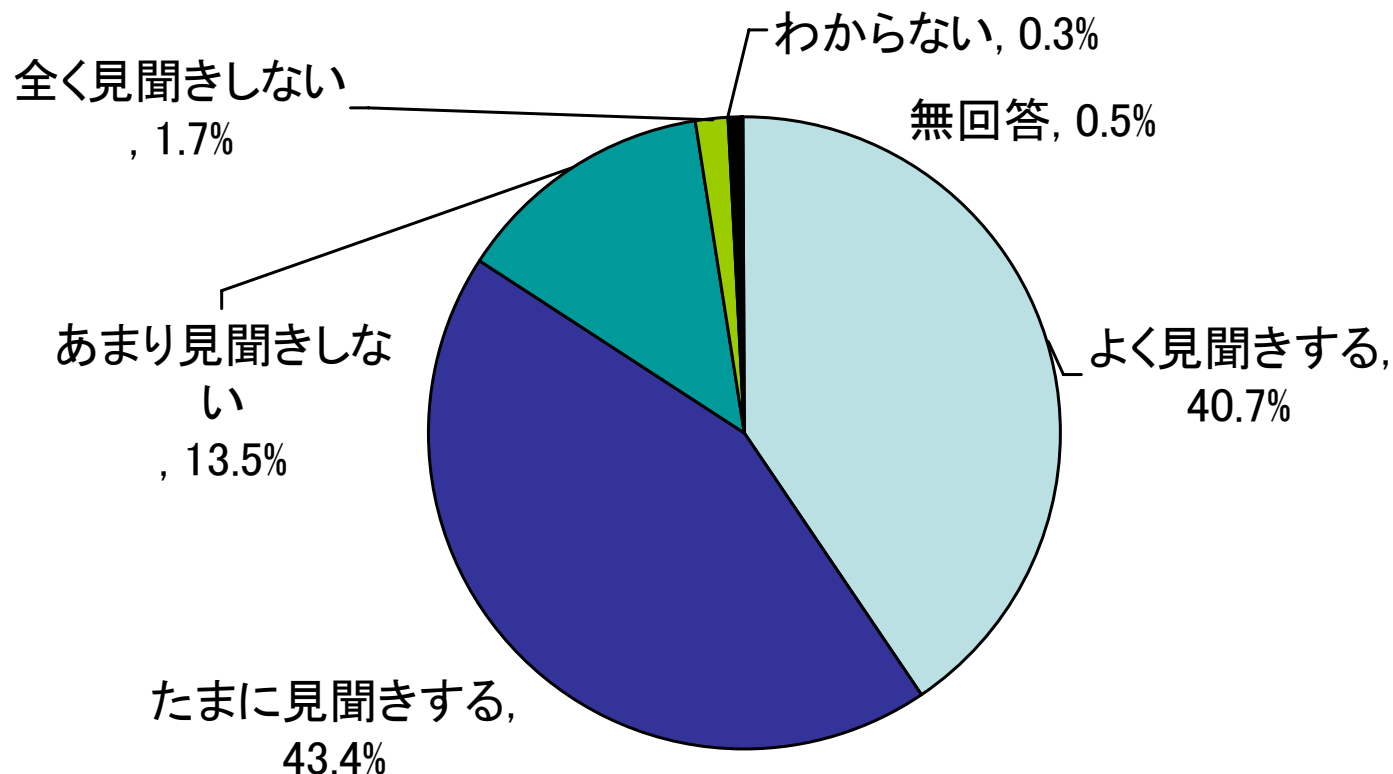


モニターの属性

調査名:「国土交通省の広報・広聴業務に関する調査」
 調査期間:平成19年9月6日～9月21日
 対象者:1195名 回答者:1010名 回答率:84.5%



8割以上の国民が日常の中で国土交通省を見聞きしている

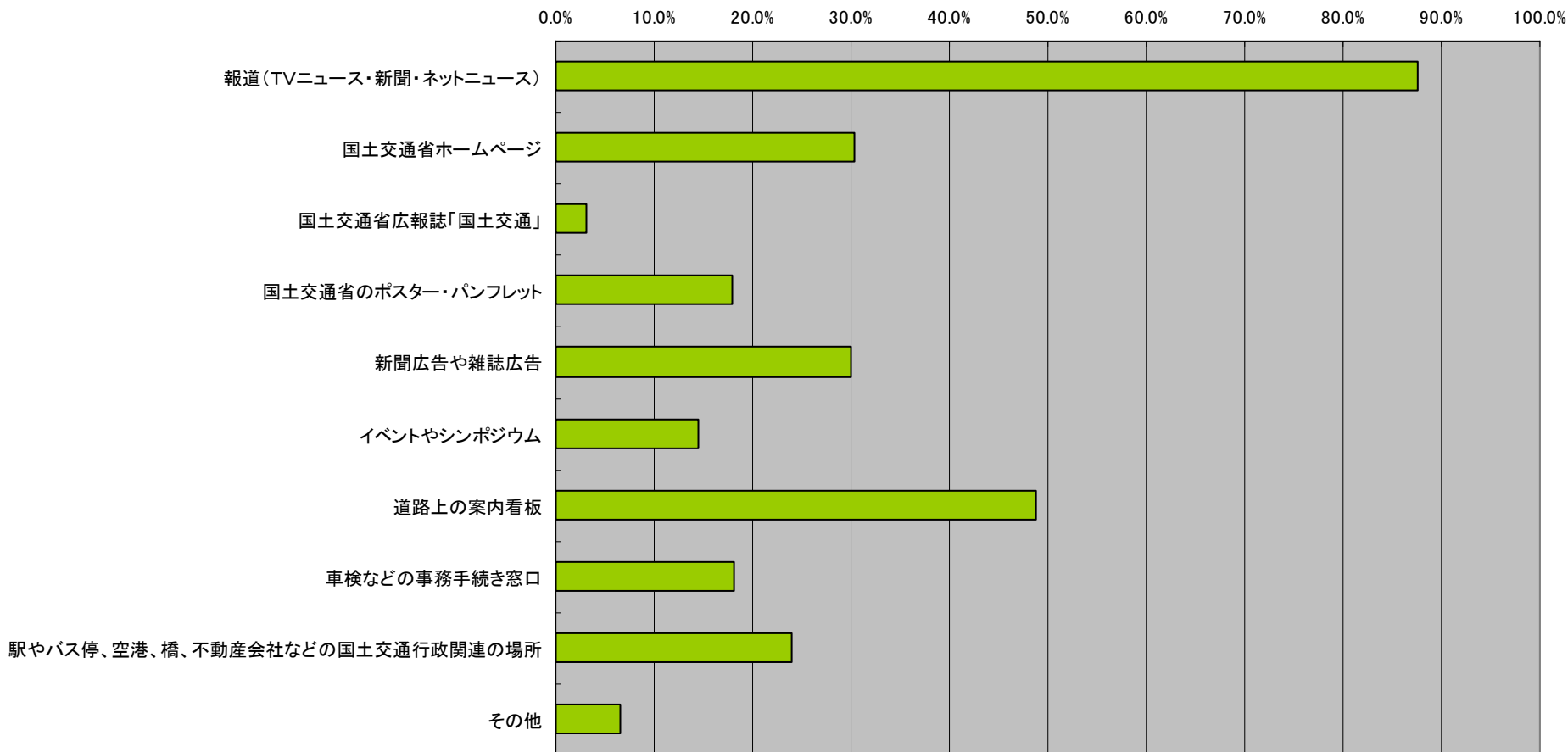


国土交通省の認知度については、80%以上の方が日常の中で「よく見聞きする」又は「たまに見聞きする」と回答した。多くの国民が日常の中で国土交通省を見聞きしているといえる。

なお、年代が高くなるほど「よく見聞きする」傾向が高く、また女性より男性の方が「よく見聞きする」傾向が高いことがわかった。

問2 国土交通省をどのような機会に見聞きますか(複数回答)

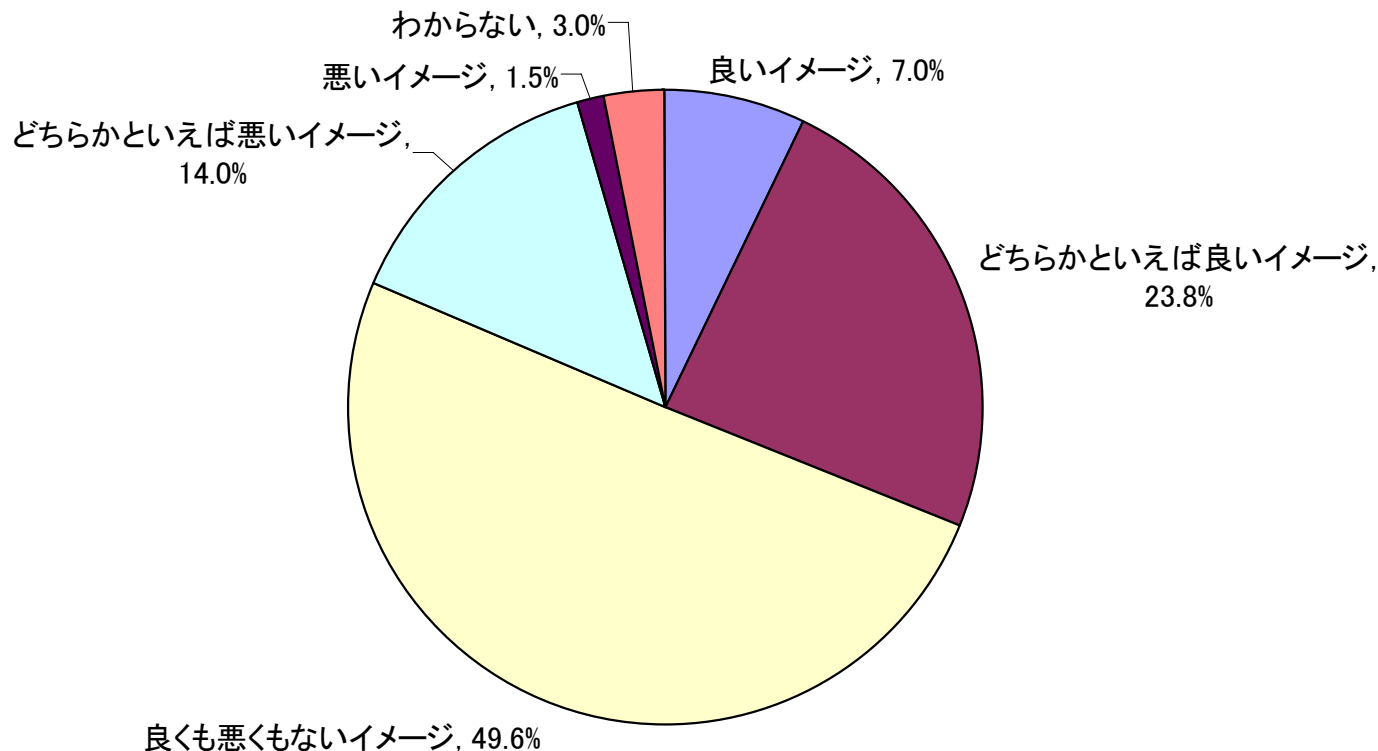
約9割の国民が報道を通して国土交通省を見聞きしている



国土交通省を認知する機会については、87.5%の方が報道(テレビニュース、新聞、ネットニュース)で認知していると回答した。報道以外では、48.8%の方は道路上の案内看板で国土交通省を認知し、30.1%の方は国土交通省HPや新聞広告・雑誌広告で国土交通省を認知していると回答した。また、国土交通省からの情報発信機会である「国土交通省のポスター・パンフレット」や「イベントやシンポジウム」で認知している人は17.9%であった。

問3 国土交通省の全体的なイメージを教えてください

約5割の国民にとって国土交通省は「良くも悪くもないイメージ」



国土交通省のイメージについては、49.6%の方が「良くも悪くもないイメージである」と回答した。「良いイメージ」又は「どちらかといえば良いイメージ」と回答した方は30.8%、「悪いイメージ」又は「どちらかといえば悪いイメージ」と回答した方は15.5%であった。

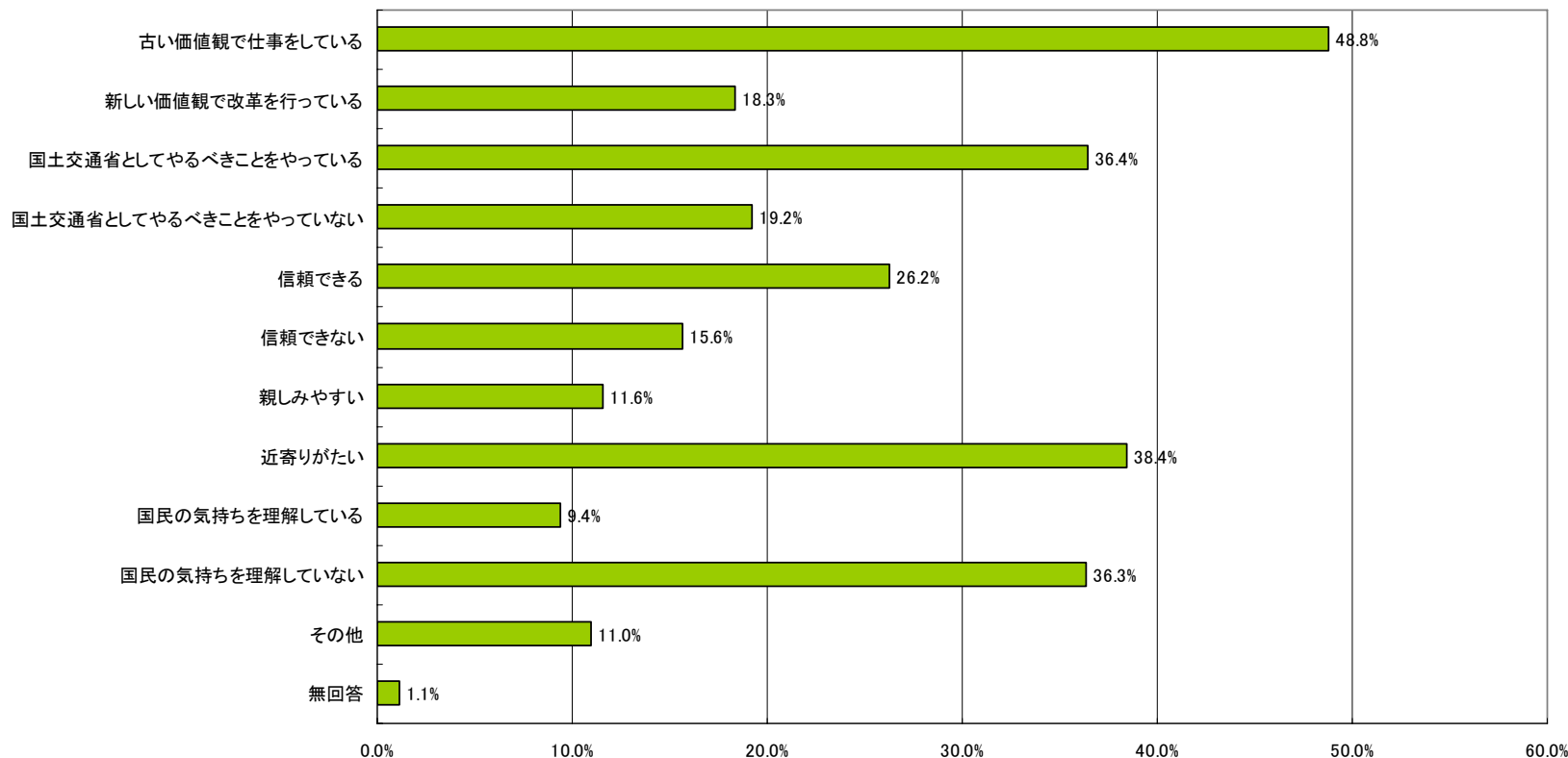
年代別で言うと、60歳代及び70歳代以上において、良いイメージを持たれる傾向が見られた。

問4&6&8 国土交通省の具体的なイメージキーワード

	良いイメージ	悪いイメージ	全体的なイメージ
1	道路	談合	道路
2	安全	天下り	高速
3	整備	道路	交通
4	交通	無駄	河川
5	災害	事故	災害
6	環境	癒着	航空
7	河川	公共工事・公共事業	公共
8	高速	役所	建設
9	安心	堅い・固い	空港
10	国土	税金	安全
11	防災	汚職	国土
12	航空	建設	鉄道
13	公共	ダム	環境
14	堅実	官僚	国道
15	空港	渋滞	ダム
16	建設	遅い	観光
17	国道	利権	自動車
18	開発	役人	新幹線
19	観光	縦割り	防災
20	鉄道	偽装	バリアフリー

問9 以下の言葉の中で、国土交通省のイメージとして当てはまるもの(複数回答)

国土交通省 = 「古い価値観で仕事をしており、近寄りがたく国民の気持ちを理解していないがやるべきことはやっている省」

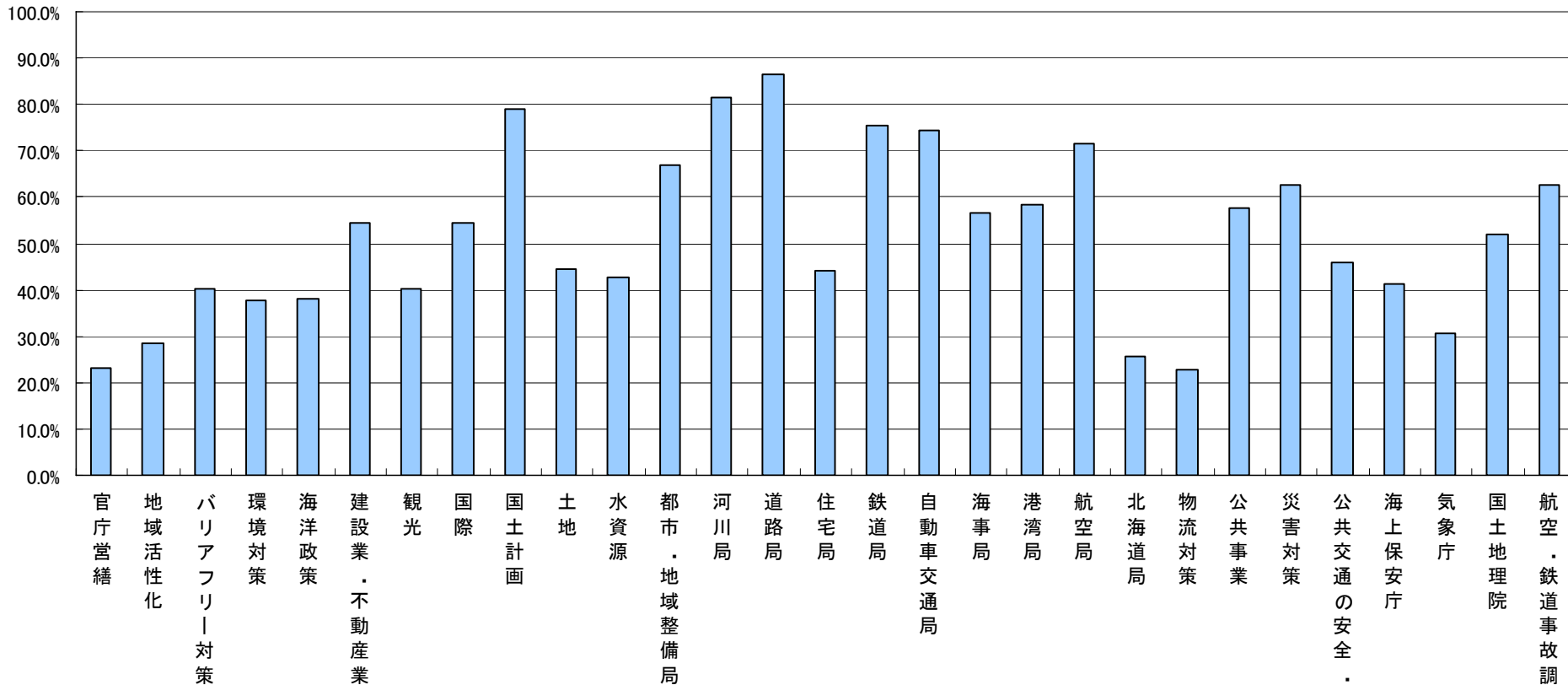


国土交通省のイメージとして当てはまるものを十択で選択してもらったところ、上位5位としては、①古い価値観で仕事をしている(48.8%)、②近寄りがたい(38.4%)、③国土交通省としてやるべきことをやっている(36.4%)、④国民の気持ちを理解していない(36.3%)、⑤信頼できる(26.2%)の5つがあがった。

また、「国土交通省が古い価値観で仕事をしている」と回答した人は「新しい価値観で改革を行っている」と回答した人の2.5倍だった。「国土交通省としてやるべきことをやっている」と回答した人は「国土交通省としてやるべきことをやっていない」と回答した人の2倍だった。「信頼できる」と回答した人は「信頼できない」と回答した人の1.5倍だった。「近寄り」これらから、国民の中で国土交通省に対して「行政分野は身近だが、組織としては身近に感じず、近寄りがたいイメージである」というイメージが形成されていることが推測できる。

問10 国土交通省の行政分野及び行政機関であると知っているもの

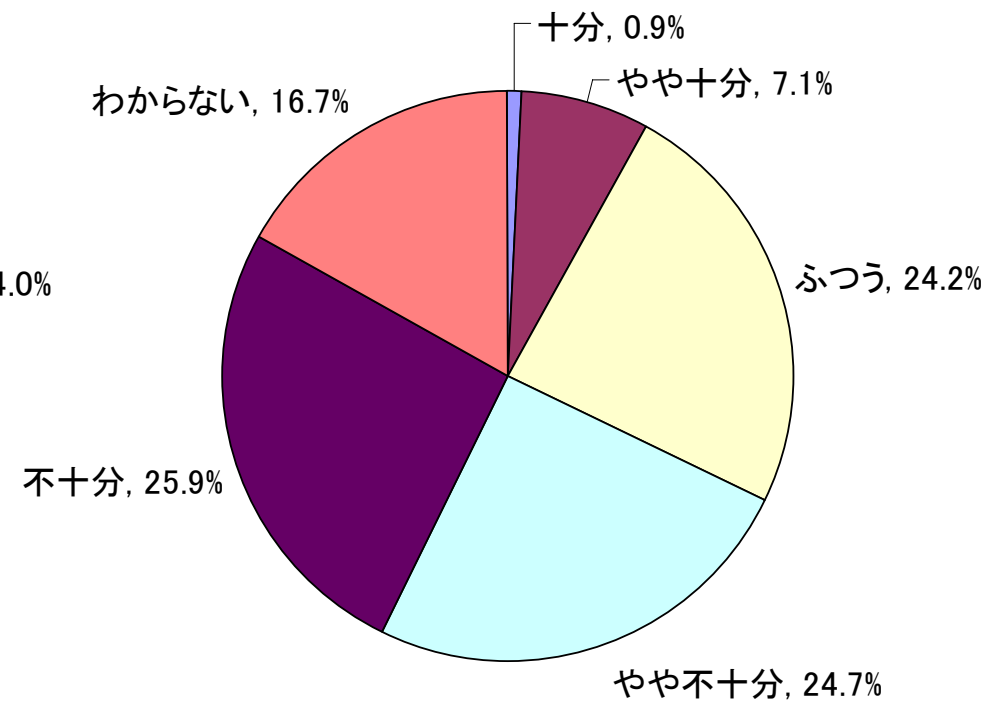
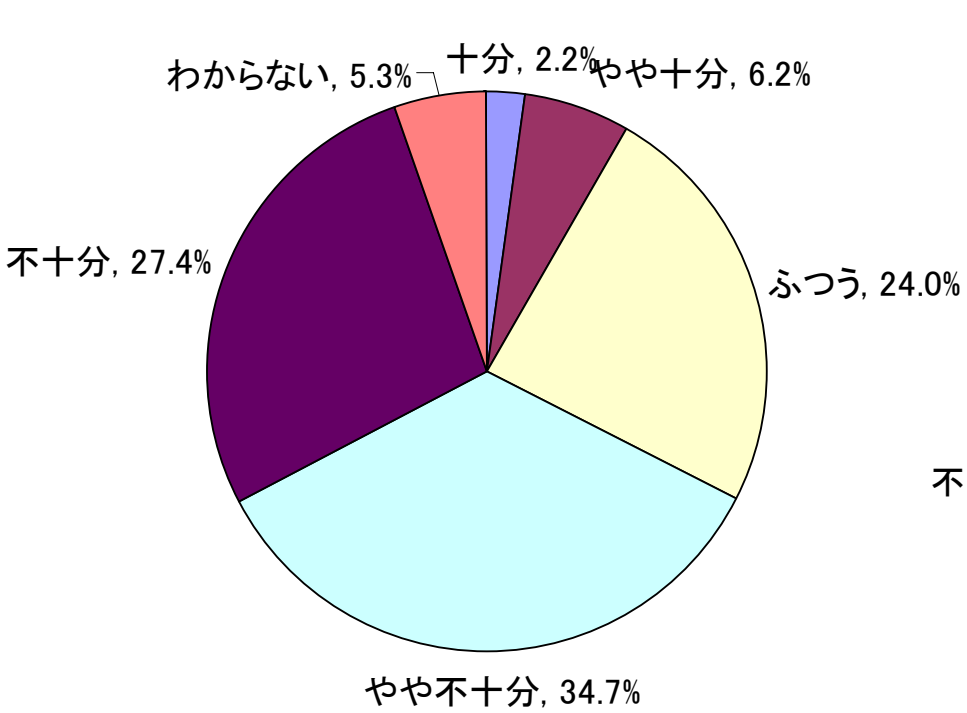
国民の5割以上が国土交通省の行政分野と認識しているものは 全行政分野の半分程度



国土交通省の所管分野として最も認識されているものは、道路であり全体としては85%以上の方が国土交通省の所管分野であると認識していた。次に、河川が80%以上の方に国土交通省の所管分野であると認識されていた。また、70%以上の方が認識しているものとしては、国土計画、鉄道、自動車、航空があった。

一方、国土交通省の所管分野であるとの認識が低い下位5つは、物流(22.9%)、官庁営繕(23.2%)、北海道の開発(25.4%)、地域活性化(28.6%)、気象庁(30.6%)であった。なお、観光についても40%しか国土交通省の所管であると認識されていなかった。

5割以上の国民が国土交通省の情報提供及び声の受入れに対して「不十分」または「やや不十分」と回答



国土交通省の施策についての国民への情報提供度については、62.1%の方が「不十分」又は「やや不十分」と回答した。「十分」又は「やや十分」と回答した方は8.4%だった

国土交通省の国民の声の受入れ度については、50.6%の方が「不十分」又は「やや不十分」と回答した。「十分」又は「やや十分」と回答した方は8.0%だった